

大阪市 中 教 研 会 報

No. 132

編集者 大阪市立中学校教育研究会
発行人 大阪市立中学校教育研究会
会長 松井宏之
発行所 大阪市立中学校教育研究会
大阪市立南中学校
TEL 6271-1456

令和元年度 研究テーマ

「未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」

～ 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて～



「学びの時代」を見据えた ICT活用のために

大阪市教育局 センター

首席指導主事 山口 裕二

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、平素より、本市教育の推進に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

また、会員の先生方におかれましては、「未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造 ～主体的・対話的で深い学びの充実に向けて～」のテーマのもと、教育の今日的課題をふまえた研究活動を推進され、本市中学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしていただいております。改めてこれまでのご功績に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

さて、平成29年3月に公示された新学習指導要領において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学びの過程等においては、ICTを適切に活用した学習活動の充実が求められており、また各教科等においても「ICTを活用した学習が効果的に行われるようにすること」と記載されています。現在、生活の中でICTを日常的に活用することが当たり前の世の中となっている中で、もはや教育の中にICTは必要不可欠です。

また、今年6月5日に開催された「society5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会」においては、「AIやビックデータなどの先端技術が、学びの質を加速度的に充実するものになる世界：society5.0における学校＝『学びの時代』がまもなく到来する」と記されており、新たな社会を牽引する人材の育成が求められています。

『学びの時代』とは、学校におけるカリキュラムが知識の体系であった『勉強の時代』から、認知的能力とその土台となる学習意欲や協働しようとする態度を重視する体系へと転換してきた『学習の時代』を経て、AIと教育ビックデータを駆使し個別最適化された学びを提供する学校の姿です。

その学校で育てるべき人材とは、技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材や、技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材、様々な分野においてAIやデータの力を最大限

活用し展開できる人材等であり、その実現のためには、ICTを使いこなす力を育てる必要があります。と同時に、文章や情報を正確に読み解き対話する力、科学的に思考・吟味し、活用する力、価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力が共通して求められており、ICTを用いて主体的・対話的で深い学びを実現することが必要になります。

大阪市では、全小中学校に基本40台のタブレット端末等のICT機器を整備し、平成28年4月からICTを活用した授業を一斉にスタートさせました。それと並行して、新学習指導要領で求められているICTの特性・強みを生かした主体的・対話的で深い学びを実現するため、教員研修を実施しています。しかし、単にICTを使いこなす力だけでなく、教員自身が主体的に学び、他者と協働し、それぞれの感性を磨き、創造性を養っていくことこそが大切であると考えています。

このように、ICTの活用により教育が大きく変化していく中ではありますが、「教育は人なり」と言われるように、学校教育の直接の担い手である教員の果たすべき役割は、これまでと変わらず、今後も引き続き極めて重要です。そのためにも、教員自身が、それぞれのキャリアステージの中で、研修や研究において受け身ではなく、「主体的・対話的で深い学び」を実現することが大切であり、そうすることが、これからの社会を生き抜く子どもの育成、子どもの「主体的・対話的で深い学び」の実現につながるのではないのでしょうか。

現状に甘んじることなく、自身の可能性を信じ、誰もが主体的に学び続け、新しいことにチャレンジできる教員であってほしいと願っています。

最後になりましたが、大阪市立中学校教育研究会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、教員の研究活動を活性化する取組を通して、確かな学力を身に付け、未来を切り拓く子どもたちの育成をお願いいたします。



「新しい学び」に向かわせる力を育む研究活動を！

大阪市立中学校教育研究会

会長 松 井 宏 之 (南中学校)

会員の皆様には、各教科や領域の研究活動にご尽力いただいていますことに、まず心より感謝申し上げます。

大阪市立中学校教育研究会は、昭和22年に創設されました。それ以来、諸先輩方の研究活動にける情熱とご努力により、常に学校現場を牽引するリーダーとして、大阪市の中学校教育を支え、大きな成果と実績を残していただいています。そして現在もその伝統を引き継ぎ、17部門の研究部専門委員会と8ブロック委員会とで先進的なお取組みをいただき、研究活動を推進していただいております。

今年度は、去る5月21日(水)に、大阪市教育センターにおいて全体会を開催し、研究活動をスタートすることができました。当日は、大阪市教育委員会や大阪市教育センターをはじめとするご来賓の皆様のご臨席のもと、多くの会員の皆様にご出席をいただき、誠にありがとうございました。研究部長やブロック委員長、専門委員の皆様にはそれぞれの役職等をお引き受けくださいましたことに感謝しますとともに、それぞれの研究活動を支援していただいていますことに対しまして、心よりお礼を申し上げます。新役員一同、会員の皆様の研究活動が、より一層充実したものになりますよう、精一杯努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、2年後の新学習指導要領の全面实施を見据えて、本年度の研究テーマは、『未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造』を継承し、サブテーマを『～主体的・対話的で深い学びの充実に向けて～』と設定し、「新しい学びのスタイル」を取り入れた授業改善・「新たな学び」の創造に向けた研究活動を深化・充実させていただきますようお願いいたします。

よりよい教育の実現を目指して研究を進めてきた各研究部・ブロックは、子どもたちの学びを中心に据え

て、取組みを積み重ねながら、大きな研究成果を上げてきました。新学習指導要領活動に示された学力の3要素は、(1) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養、(2) 生きて働く「知識・技能」の習得、(3) 未知の状況でも対応できる「思考力・判断力・表現力等の育成」と明示されています。新しい時代に必要となる能力を育成するには、学力の土台となる資質を同時に育成しなければなりません。「新しい学びに向かう力」を育むには、やはり子どもたちの実態に応じた教材研究とこれからの時代に求められている「新しい学び」を展開できる実践的な指導力が必要かと考えます。

各研究部、ブロックにおかれましては、「新しい学び」の充実に向けて、これまで以上に活発な研究活動を進めていただきますようお願いいたします。

本研究会では、研究会のホームページを活用して広報に努めております。(Skip ポータルのリンクがあります)。会員の皆さまにも、ぜひご活用をいただきますようお願いいたします。

また、研究会の活動が、会員の皆さまにとり、より有意義なものになるように、改善すべきところは改善を進めたいと考えております。ご意見・ご提案等がございましたら遠慮なく本部役員までご連絡くださいますようお願いいたします。

最後に、本研究会では、大阪市教育委員会や大阪市教育センターのご支援を得ながら研究活動を進め、現在求められる教育、さらにはその先を見据えた教育の実現を求めてまいりたいと考えております。会員の皆さまには、本研究会の活動がますます活気あるもの、実りあるものとなりますよう積極的な研究活動へのご参加、そして、より一層のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新 部 長 の あ い さ つ

国 語 部

「生きる力」としての国語力の育成

— 自分の思いや考えを深める言語活動の充実 —

池 尻 一 郎 (井高野中)

昨今、喫茶店などで見るからに知り合いなのに、互いに黙ったままスマホをいじっている、という風景をよく見ます。

スマホやPCなどの情報機器を介しての間接的な情報収集や発信、意思疎通は驚くべきスピードで発展しています。その分、直接的対話・会話の時間と量が減り、コミュニケーションの力と質は低下しました。もしかししたら、学校での授業だけが直接的対話・会話と相互伝達の場になる、ということも考えられます。現にライブでなく映像で授業を受けるスタイルの予備校もできています。

しかし、間接的コミュニケーションが増えれば増えるほど、より高度で正確な文章表現力、国語力が求められます。

生徒に「自分の思いや考えを深める、充実した言語活動」を指導し、国語力を育成するためにも、国語科教員が国語授業について「自分の思いや考えを深める、充実した言語活動」をする研究協議会にしたいと思えます。

全市や各ブロックでの研究会が、国語科教員の国語力と授業力の向上に役立つよう、積極的な参加、よろしくようお願いいたします。

数 学 部

「未来を創造する数学の主体的・対話的で深い学びをめざして」

高 橋 哲 也 (大 淀 中)

今年度の研究発表会は、11月15日(金)に「近畿算数・数学教育研究大阪大会」(近数教)と兼ねて行います。また、研究主題は、近数教と合わせて「未来を創造する数学の主体的・対話的で深い学びをめざして」としました。

近数教では、市から2つの公開授業を行います。1つは、昨年度の研究発表会で國學院大学 田村学教授(前文部科学省初等中等教育局視学官)と文教大学 永田潤一郎教授(同教育課程数学科調査官)から頂いた

貴重な指導助言を踏まえ、「平面図形」で行う予定です。もう1つは、新学習指導要領で、新たに指導する内容となる「四分位範囲や箱ひげ図」の授業づくりにチャレンジする予定です。

いずれにしても、数学部として、脈々と大切にされてきた丁寧な授業づくりに取り組み、成果を積み上げ、大阪市の子供たちの学力向上に貢献できればと考えていますので、夏のブロック研究会と秋の近数教への積極的な参加をどうぞよろしくお願いします。

理 科 部

「科学的な見方や考え方を養う」

堀 展 久 (平野北中)

理科は好き?と聞くと、実験・観察は楽しいから好きだけれど、それが何の役に立つのかはよくわからない、だからあまり好きな教科とは思えないという声を聞きます。

興味・関心を持つことが、学習への第一の動機づけになります。理科なら実験・観察・栽培・飼育・ものづくりなど、体験をともなって楽しく学習する教材が豊富です。しかし、中学生くらいになると、その学習が何の役に立つのか、自分の将来と関連があるのかなどを意識し始めます。

予測を立て、条件を設定してデータを取り、結果から何が言えるのかを論理的に説明する方法は、科学者になりたい人だけでなく、誰にとっても将来のために必要な力です。このことを子どもたちに伝え、理科学習の大切さを感じてほしいと思っています。

理科部では、専門委員が2つのグループで分担し、新学習指導要領に則した調査・研究、教員研修、生徒理科研究発表会などを実施いたします。皆様の積極的な参加のほど、よろしくお願いいたします。

音 楽 部

「未来を切り拓く、豊かな感性を育む音楽教育の創造」

～ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて ～

有 田 伸 一 朗 (淀 中)

心の教育を担う教科「音楽科」では、新学習指導要領の全面実施に向けて、今年度研究主題を一新しました。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、主体的に音や仲間と交わり、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と、深く関わることのできる資質・能力を育成することを目指します。

今年度の各ブロック研究発表会や全市研究発表会で

は、この研究主題の具現化に向けて研究を進めてまいります。

あわせて、平成29年度に本市で開催した近音研大阪大会を機に連携した、大阪府中学校音楽教育研究会、大阪市小学校教育研究会音楽部と連携を深めます。

音楽部の先生方と共に、音楽教育の質の向上と指導力の向上を進めてまいりたいと思います。

保健体育部

「保健体育授業における学習意欲を高める協働的深い学びの創造」

山 岡 伸 一 (此 花 中)

保健体育部においては、各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連していることを踏まえ、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成や健康の保持増進のための実践力の育成及び体力の向上をテーマとして研究を進めてきています。今年度は昨年度に引き続き、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現できるように「運動やスポーツの持っている価値や特性に着

目して、楽しさや喜びと共に体力の向上を果たす。」という目的のために、「陸上競技(ハードル走)」を取り上げ公開授業に取り組みます。また、「体づくり運動」や「保健学習の進め方」においても<子どもの体力向上指導者研修>に参加し、伝達講習を計画しています。各学校からの積極的な参加をよろしくお願いいたします。

情報技術部

『情報技術の進展と並走し、教育に活用し続ける』

近 藤 正 宏 (本 庄 中)

人類はこれまで、その需要度によって食料、銀や金、様々な天然資源等をあたかも地球を回す動力であるかのように扱ってきました。その主役は現在は明らかに“情報”に移っていることに異論はないと思います。この“情報”のメリットを有効に活用し、デメリットを事前に把握し対処することを子ども達に教育することの重責を帯びているのが情報技術部であると確信しています。

今年度も『統計教育』『情報教育』『新聞教育』の3部門がそれぞれ独自の目線で、あるいは関連し合いながら積極的に研究を重ね、新しい授業法や子ども達の教育に資する情報を提案・伝達してまいります。

わずか1行の執筆中にも、窓を開け閉めしている間にも世界の情報技術は進展しています。これからも、この極めて迅速な生き物のような情報技術と並走し、教育への活用に努めてまいります。

本部だより

令和元年度 大阪市立中学校教育研究会全体会 5月21日(火)に大阪市教育センターで開催しました。

研究主題

「未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」

～主体的・対話的で深い学びの充実に向けて～

全市研究発表会 10月9日(水)を中心に開催予定。積極的な参加を!!

《事業の種類》

- ① 教育課程の検討と推進
- ② 研究部・ブロック委員会の研究活動の深化・充実
- ③ 全市研究発表会の推進と研究活動の充実
- ④ 中教研会報の内容の充実、研究活動の動向や成果の正確な伝達
- ⑤ 教育委員会・教育センター・校長会・小学校教育研究会等関係団体との協調と連携

《当面の課題》

- ① 学力向上・指導法の工夫改善について
- ② 研修・研究会への参加を通しての教職員の相互研鑽
- ③ 教育課程の諸問題についての研究
- ④ 基礎学力の充実・問題行動・いじめ・不登校の研究
- ⑤ 各部・各ブロック・各学校における研究体制の整備
- ⑥ 小中一貫した教育についての研究
- ⑦ 「特別の教科 道徳」について
- ⑧ その他教育上の諸問題の研究

評議員会報告

第1回 5月21日(火)

14時～ 於：教育センター

- (1) 平成30年度 事業報告
- (2) 平成30年度 会計決算報告
- (3) 平成30年度 会計監査報告
- (4) 令和元年度 事業計画並びに予算案
- (5) そ の 他
 - ① 役員選出について
 - ② 専門委員会での協議事項
 - ③ 今後の評議員会の日程について 等

第2回 6月5日(水)

16時～ 於：教育センター

- (1) 令和元年度 予算案について
- (2) ブロック研究発表会・全市研究発表会について
- (3) 会報(第132号)、研究集録の作成について
- (4) 研修計画について
- (5) そ の 他
 - ① 令和元年度 役員・専門委員一覧表について
 - ② 令和元年度 部門別研究主題について
 - ③ 令和元年度 ブロック別研究主題、研究発表会の確認について
 - ④ 令和元年度～令和3年度 全国・近畿大会予定表について

令和元年度 部門別研究主題

No.	部 門	研 究 主 題
1	国 語	『生きる力』としての国語力の育成 －自分の思いや考えを深める言語活動の充実－
2	社 会	「持続可能な社会の形成者として、社会的な見方・考え方を深める社会科学習」
3	数 学	「未来を創造する数学の主体的・対話的で深い学びをめざして」
4	理 科	「自然の事物・現象について理解を深め、科学的な見方や考え方を養う理科教育」
5	音 楽	「未来を切り拓く、豊かな感性を育む音楽教育の創造」 －主体的・対話的で深い学びの実現に向けて－
6	美 術	「社会とつながる美術教育をめざして」 －未来を切り拓く子どもたちの育成－
7	保 健 体 育	「保健体育授業における学習意欲を高める協働的深い学びの創造」 －陸上競技（ハードル走）の指導法の研究－
8	技術・家庭	「豊かな生活を創造する力を育む技術・家庭科教育」 －主体的な学びによる課題解決学習－
9	英 語	「英語で積極的にコミュニケーションを図る資質・能力を育成する」 －5領域のコミュニケーション能力を総合的に養う－
10	道 徳	「人間としての生き方についての自覚を深める道徳教育の創造」 －豊かな心を育む道徳の授業づくりをめざして－
11	特 別 活 動	「生徒一人ひとりが主体的に生きる特別活動の創造」
12	生 活 指 導	「生活指導上の今日的な課題を把握し、地域・関係機関と連携・協働した効果的かつ組織的な生活指導体制を研究する」
13	特別支援教育	「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい 生きる力を育む教育をめざして」
14	保 健 養 護	「養護教諭の専門性と資質の向上をめざして」
15	情 報 技 術	「多様化する情報を活用する力を身につける」
16	教育メディア	『生きる力』と『感動する心』を育む教育メディアの研究 －学校図書館・放送・視聴覚教育を通して－
17	教 育 課 題	「未来を切り拓く力をはぐくむ教育課程の編成」

令和元年度 ブロック別研究主題・発表会日程

ブロック	研 究 主 題	発表会日程
1 ブロック	「カリキュラム・マネジメントの充実をめざして」 －新学習指導要領を見すえ、社会に開かれた教育課程の確立－	9月3日（火）
2 ブロック	「未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」 －主体的・対話的で深い学びの実現に向けて－	8月30日（金）
3 ブロック	「確かな学力の定着と豊かな心をはぐくむ教育の創造」	8月30日（金）
4 ブロック	「安全な社会で心豊かに力強く生き抜く力をはぐくむ教育の創造」	9月3日（火）
5 ブロック	「主体的な学び・活用能力を進化させ、社会の変化に対応できる教育を創造する」	9月3日（火）
6 ブロック	「生徒の個性を生かし、主体的に学ぶ意欲を育てる教育活動の研究と推進」	8月30日（金）
7 ブロック	「豊かな心を育み、個に応じた、学ぶ意欲を高める教育活動を創造する」	9月3日（火）
8 ブロック	「豊かな心と未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」	8月30日（金）

※日程につきましては、部によって異なることがありますのでご注意ください。

令和元年度 役員・評議員

令和元年度、役員・評議員が下記のとおり決まりました。（敬称 略）

【大阪市教育委員会】

中学校教育担当	総括指導主事	小笠原 忠承
大阪市教育センター	指導主事	石田 かおり

【本部役員】

会 長	松 井 宏 之 （ 南 ）
副 会 長	生 長 政 彦 （東 淀）
同	井 寄 芳 春 （横 堤）
同	藤 本 睦 子 （田 島）
書 記	坂 本 政 隆 （ 緑 ）
会 計	松 井 信 次 （矢 田 西）
会 計 監 査	北 川 一 雄 （天 王 寺）
同	堀 田 千 秋 （住 之 江）

【本部役割分担一覧】

● 全市研究発表会、 ブロック研究発表会の調整 等	（生 長）
● 企画立案、研究の歩み、会報の編集、 HP担当 等	（井 寄）
● 研修計画、教育課程、 小中一貫教育担当 等	（藤 本）
● 名簿作成、議事録作成、 案内状発送、報告書作成 等	（坂 本）
● 会計、予算、事業報告書作成、 決算報告書作成 等	（松 井）
● 会計監査、会場準備、資料配布 等	（北川・堀田）

【部 長】

1	国 語	池 尻 一 郎 （井 高 野）
2	社 会	鈴 木 慶 彦 （野 田）
3	数 学	高 橋 哲 也 （大 淀）
4	理 科	堀 展 久 （平 野 北）
5	音 楽	有 田 伸一朗 （ 淀 ）
6	美 術	石 川 文 子 （宮 原）
7	保健体育	山 岡 伸 一 （此 花）
8	技術・家庭	宮 脇 敬 市 （東 三 国）
9	英 語	井戸本 崇 志 （我孫子南）
10	道 徳	安 藤 幸 人 （東 陽）
11	特別活動	進 藤 文 代 （白 鷺）
12	生活指導	源 嶋 史 展 （高 倉）
13	特別支援教育	柿 花 正 信 （梅 南）
14	保健養護	吉 田 直 子 （新 豊 崎）
15	情報技術	近 藤 正 宏 （本 庄）
16	教育メディア	原 稔 （淡 路）
17	教育課題	安 村 哲 治 （旭 東）

【ブロック委員長】

第1ブロック	角 芳 美 （咲くやこの花）
第2ブロック	平 田 武 司 （城 陽）
第3ブロック	吉 本 博 志 （市 岡 東）
第4ブロック	土 屋 雅 （大 桐）
第5ブロック	渡 邊 進 司 （新 生 野）
第6ブロック	浅 埜 高 司 （長 吉）
第7ブロック	二 井 敦 子 （東我孫子）
第8ブロック	竹 内 直 樹 （高 津）

令和元年度 教育研究会予算

1. 歳 入

（単位：円）

項 目	令和元年度 予 算 額
会 費	2,223,000
補 助 金	※200,000
繰 越 金	2,934,523
預 金 利 息	0
合 計	5,357,523

2. 歳 出

（単位：円）

項 目	令和元年度 予 算 額
本 部 事 業 費	3,415,015
研究部事業費	1,541,508
ブロック事業費	401,000
合 計	5,357,523

※日本教育公務員弘済会研究助成金